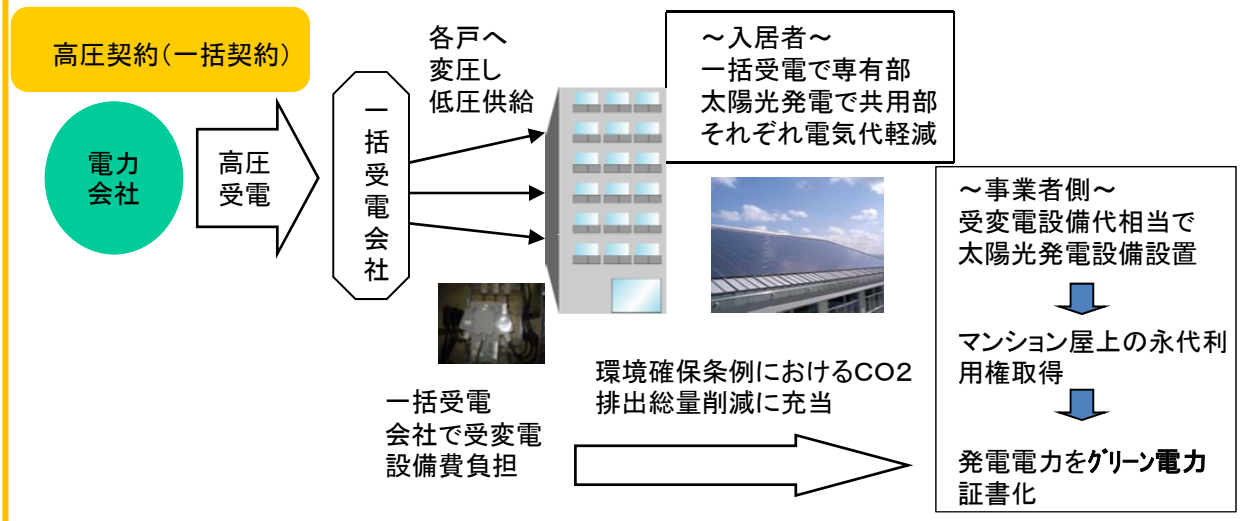
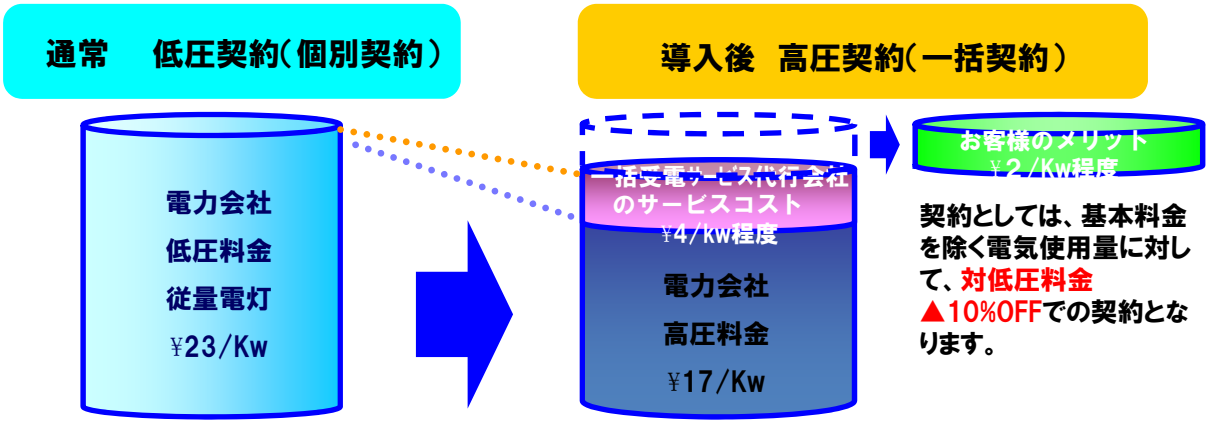
集合住宅における一括高圧受電導入とあわせた太陽光発電普及モデル

モデルの内容

◆集合住宅において温室効果ガス削減に資するために、一括高圧受電の活用とあわせて、太陽光発電を導入する。



【一括高圧受電方式とは】



契約としては、基本料金を除く電気使用量に対して、対低圧料金▲10%OFFでの契約となります。

調査のポイント

1. 太陽光発電をマンションに設置する際の問題点を整理（物理的要因、工事上の課題など）

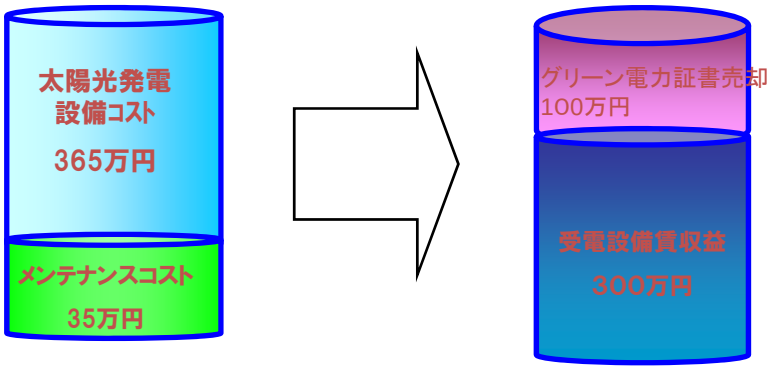
2. 一括受電の管理運営スキーム確立（権利関係、保安体制）

3. 関連制度（環境確保条例対策のための発電電力グリーン電力認証基準等）に準拠する方策を整備

4. 普及方法（小規模マンションにいたるまで）を検討

事業化・普及の方法

1. 太陽光発電設備設置及びグリーン電力認証専門会社を設立し、その会社が一括受電設備を受電会社に賃貸することで、設備賃貸収益及びグリーン電力証書売却益で太陽光発電設備コストをまかなう。



10年間で回収

2. 大規模、小規模のマンションでバランスよく設置し、コストの平準化を図る。

3. 既存マンションの場合も、屋上防水工事に併せて基礎を設置を設置することで、効率よく普及を図る。

CO2削減効果・その他の効果

1. 1棟当たり5KW能力の太陽光発電で年間約3tのCO2削減効果がある。

2. 1年間に建設される約3千棟のマンションの半分（1，500棟）で5KWの太陽光発電を行うと、年間4，500tのCO2削減効果がある。

◆マンション居住者のメリット
①1棟当たりの共用部電気代を年間約10万円削減！
②一括受電により1戸当たりの電気代年間約1万円削減！

◆マンション事業主のメリット
①マンション環境性能表示で☆☆以上の評価が得られる。
②居住者メリットを打ち出し販売促進効果が高まる。